



# メキシコ –注目の大統領選は ロペス・オブラドール候補が勝利の公算–

## POINT 投票結果は予想通りの展開

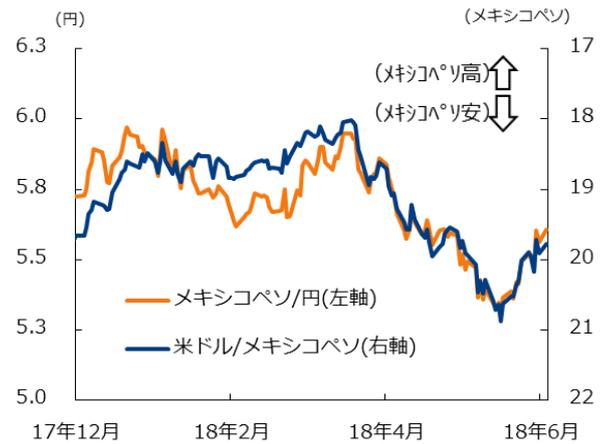
7月1日(現地時間)に行われたメキシコ大統領選において、地元の出口調査によると予想通り、元メキシコシティ市長で、左派政党、国家再生運動(Morena)のロペス・オブラドール候補が勝利の公算、との報道がされています。

## POINT メキシコペソは反発

出口調査を受けメキシコペソは、日本時間の7月2日12時30分時点で1米ドル=19.7701メキシコペソ、1メキシコペソ=5.6120円と、6月29日の海外終値に対してそれぞれ0.7%高、0.9%高といずれもメキシコペソ高となっています。しかし、選挙結果が次第に明らかになるにつれ、メキシコペソは一時上昇した後に再び売られるなど、不安定な動きも見られ、開票状況の捉え方はまちまちな状況です。

## –メキシコペソの年初来推移–

(2017/12/29~2018/7/2)



## 今後の見通し トランプ米大統領に「No!」と言える大統領の誕生か。 ～新大統領の政策に注目～

ロペス・オブラドール候補は、トランプ米大統領に対し強硬姿勢を示し、現政権の政策を否定(教育改革の撤回、エネルギー改革の見直し等)してきたため、メキシコペソには不安要素として作用してきました。しかしながら、現政権では成し遂げられなかった、政治汚職の撲滅や麻薬戦争の激化に伴う治安問題に対応するとし、経済政策については、国内市場の発展を優先させるとしています。新大統領は12月1日に就任し、任期は6年となります。新大統領の政策が市場で評価されるか否かが、今後のメキシコペソの動向を握るカギとなると思われます。

### ロペス・オブラドール候補の主な公約(2017年12月発表)

外 交	米国とは協力関係を維持するが、移民に対する不当な扱いは許容しない。
汚 職	政治汚職・腐敗の撲滅と、行政の効率化によりGDP比2%弱の資金を捻出。 その捻出した資金を、生産性向上と雇用創出のための投資に充てる。
治 安	治安問題の経済的・社会的原因に対応する。
教 育	現政権の改革を撤回し無償化する。
財 政	増税は行わず財政規律を維持、公的債務を増やさない。
経済開発	既存契約も含め、エネルギー改革を見直す。 メキシコシティ新国際空港の建設中止。(最近は国民投票を行うと発言)
経済政策	戦略的分野の国内調達率の引き上げ
	最低賃金の引き上げ
	所得が低い地方のインフラ開発
	輸出の促進と多様化
	中小企業の競争力強化
	零細農家に対する農産物価格の保証

各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいすみざん  
大和住銀投信投資顧問  
Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会